

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

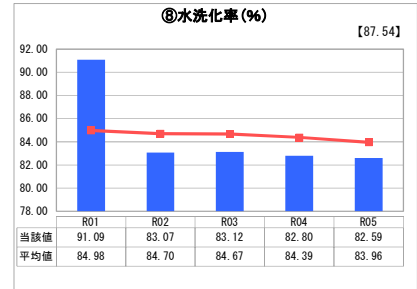
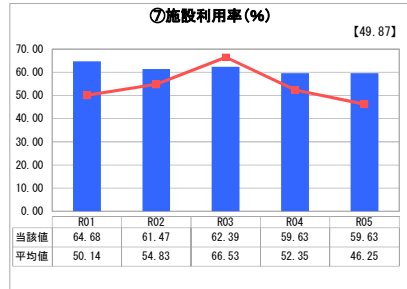
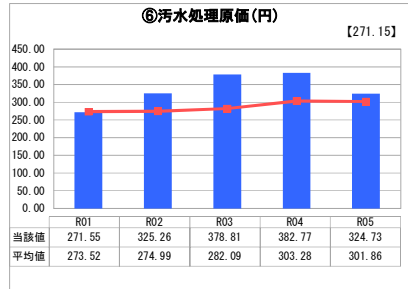
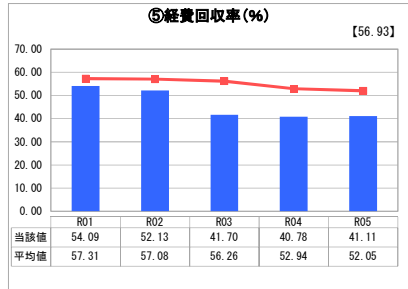
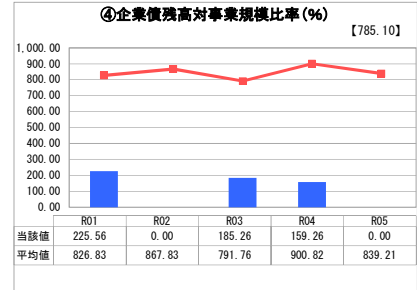
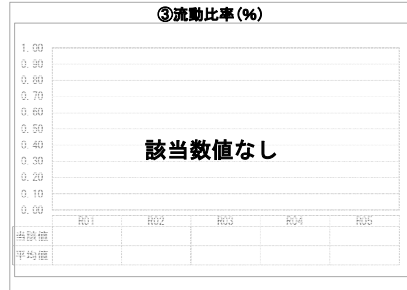
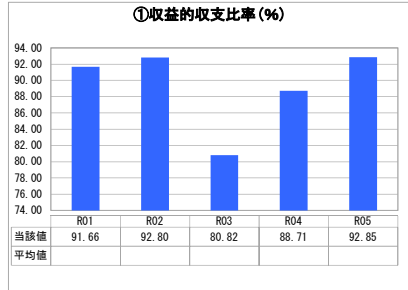
香川県 三木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	1.91	85.03	2,731

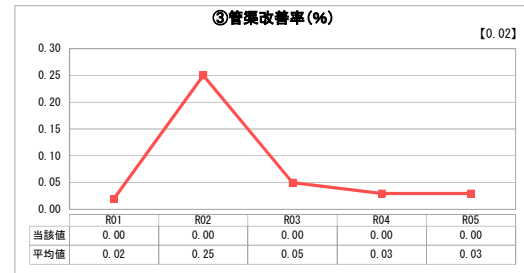
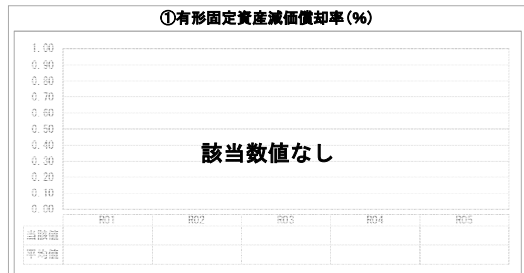
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
27,096	75.78	357.56
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
517	0.45	1,148.89

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
□	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度においては、令和6年度からの法適用化に伴い打ち切り決算をし、特例的未収未払金が発生しているため、指標が例年と異なる。

施設修繕や電気料金等の高騰もあり、収支比率が伸び悩んでいる状態である。同様の理由から経費回収率及び汚水処理原価も改善が難しい状況となっている。

また、高齢化及び人口減少が進んでおり、施設利用率と水洗化率が減少傾向にあり、向上は難しい状況である。

これにより一般会計の負担が増えることが懸念される。

### 2. 老朽化の状況について

現在、供用から20数年が経過しているが、管渠において耐用年数を経過しているものはまだない。しかしながら処理施設の設備等の修繕及び更新が必要となっているものがあることから、令和2年度策定の最適整備構想を活用し、更新費用の抑制及び平準化を図りながら更新を進めていく。

### 全体総括

経年による施設の老朽化及び電気代や燃料費などの高騰により、維持管理費が増大している状況であるが、人口減少により収入が減少しているため、厳しい経営状況が続くと思われる。引き続き普及啓発による接続率の向上に努めるが、一般会計に依存している状況である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。